

はじめに

食育サポートセンター運営委員会
委員長 石松 秀

食育サポートセンターは、地域の皆様方のご協力のお陰を持ちまして、開設 13 年目を迎え益々充実し、地域を拠点とした活動を展開させていただくことができました。これもひとえに皆様方のご理解とご支援の賜物と感謝し、心より御礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

さて、今年度は組織の上で大きな変革がありました。これまで食育サポートセンターは、地域連携センターの一部門として活動してきましたが、平成 30 年度より健康栄養学部の直下に配置されました。これまで以上に専門性を生かし、学生と地域を食育で繋げる活動を充実できればと考えています。この一貫として今年度の「食まなび塾」では、地域の小学生を対象にした食育活動を 3 回に渡って開催しました。開催地も昨年春に佐賀市水ヶ江の旧好生館跡地にオープンした西九州大学グループ健康支援センター「すこやかキッチンスタジオ」のピカピカの新しいキッチンで、近隣の小学生と本学学生がともに活動し、楽しい「食まなび塾」となりました。また「肥前幕末維新博覧会」と本学がタイアップした「西九大の日」では、プチオープンキャンパスとして、「明治の食“カレーライスを作って実食！”」と銘打って、高校生と本学学生が協力して、すこやかキッチンスタジオでいろいろなカレーを作って食べるという催しも行いました。

今年度の「食育推進交流会」では「食がつなぐ！食が育てる！～佐賀の魅力を知ろう・食べよう・広げよう～」をテーマに開催しました。私が食べ方と血糖値に関する食育講演を行ったほか、嬉野市商工会の白濱幸広様、佐賀県有明海漁業協同組合の江頭忠則様、佐賀市立北川副小学校の百武裕美様から、様々な食にまつわる事例や問題を提示いただき、パネルディスカッションを進めていきました。パネルディスカッション後での「食の体験交流会」は、新しい試みとして好評を得ることができました。

この他、例年恒例となっている地域の種々のイベントにお呼びいただき、お陰様で今年度も充実した活動を行うことができました。この様な活動には、皆様のご理解とご協力が大きな力となっております。

新しく生まれ変わった食育サポートセンターは、今後とも皆様のご協力により、共に食育活動を推進して参りますので、何卒今後ともよろしくお願い申し上げます。

目 次

I	平成 30 年度事業の成果と課題	1
II	味覚教育	6
III	学生食育ボランティアあすなろ隊	8
IV	平成 30 年度活動報告	9
	1. 活動報告① (食育推進交流会)	11
	2. 活動報告② (学生食育ボランティアあすなろ隊派遣活動)	13
	3. 活動報告③ (学園祭)	17
	4. 活動報告④ (健康支援センターでの食育活動)	18
	5. 教材の貸出状況	20
V	食育サポートセンター運営委員会	24
VI	食育サポート事業協議会	28

◆食育サポートセンター

平成 18 年 9 月 28 日	開設
平成 27 年 4 月 1 日	地域連携センター内に移設
平成 30 年 4 月 1 日	健康栄養学部内に移設